

8-4-12 港湾専門委員会

1. 港湾専門委員会の予算

予算：1,000,000 円

2. 主な活動の記録

(1) 港湾専門委員会の開催

前年度に引継ぐ新基準体系 WG、RCCM 講習会 CD 教材作成 WG、恒例の港湾研修 WG を設置。

新基準対応の設計歩掛調査、RCCM 講習会 CD 教材作成 WG による CD 教材の新基準移行への見直し作業、中堅、若手技術者の技術力向上に資する研修会等の開催、技術委員会等の支援等、港湾業界の持続可能な方策に関し、検討活動を行った。

- ・委員会の開催回数：8 回
- ・港湾施設研修会：1 回
- ・WG の開催：随時

(2) 新基準体系 WG 活動

平成 19 年 4 月の改正港湾法の施行による「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の改訂に伴い、

- ① 新基準対応の設計歩掛調査を実行、特記仕様書関連の情報・資料等を収集し検討を実施。(次年度継続)
- ② 新基準における確認行為について及び新設計基準の運用についての勉強会を開催。講師：沿岸技術研究センター 山本修司理事 (H20.2.19 開催：25 名参加)
- ③ エラー防止事例の調査を実施。(次年度継続)

(3) RCCM 更新講習会 CD 教材作成 WG 活動

RCCM 更新講習会 CD 教材作成 WG は、「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の改訂により、新基準への移行に伴う見直し作業を行った。

(4) 港湾研修 WG 活動

中堅、若手技術者の技術力向上に資する研修会等の開催：恒例の港湾施設研修会で、「東京港運河ルネッサンスと臨海大橋（仮称）プロジェクトの見学会」を開催した。説明：東

京都港湾局 東京港建設事務所 鈴木浚渫工事課長、関東地方整備局 東京港湾事務所 片山副所長 (H19.11.9 開催：34 名参加)

(5) 技術委員会等への支援活動

- ① 「他協会等との連携」に関し意見等の回答を実施。
- ② 「設計業務委託等技術者単価の技術者職務区分の扱いについて」に関し意見等の回答を実施。
- ③ 「施工者との適正な技術交流」に関し意見等の回答を実施。
- ④ 技術委員会への参加。

(6) その他

国内の港湾における大規模プロジェクトが少ない現状を踏まえ、飛躍的に増大する中国の港湾物流を支える大規模プロジェクトの実態を確認すべく、上海港の視察 (H19.11.21～25) を実行した。(港湾専門委員会有志)



外高橋コンテナターミナル



洋山コンテナターミナル

3. 次年の活動について

引き続き、新基準体系に伴う適正作業量の検討、エラー防止調査、施工者との適正な技術交流、独法・港湾空港技術研究所との意見交換、技術開発支援及び技術研修会の開催を中心に、8 回程度の委員会開催予定。

(港湾専門委員会委員長 熊谷 忠輝)